



さわやかな気候になりました。おそらく一年中で一番清々しい季節ではないでしょうか。

さて、ゴールデン・ウィークも終わり、家庭訪問も終了しました。これからはがっぷりと授業に取り組む時期になりましたね。

## 今週は中間考査

今週の16日(木)17日(金)に今年度最初の定期考査があります。一年生は全く初めての経験ですね。テストが終わるまで勉強漬けです。想像するだけで気が重くなるという人もいるのではないのでしょうか。しかし、学生にテストは付きものです。こればかりは避けて通ることができません。逆に、逃げるができないのなら腹をすえて、とことん自分の勉強方法について考えてみてはどうでしょう。

先週の金曜日に発行された生徒会新聞に「私のオススメ勉強法」という記事が掲載されていました。みんな工夫して勉強しているんだなあと感じました。その中の4つを再度紹介しておきます。

1 ①学校でもらったワークを完璧になるまで解く ②テスト対策プリントも解けるまでする ③授業で書いたノートを見直す。

テスト勉強をするとき、新しい問題集や参考書を一から始めるのではなく、授業で使ったプリントやノートを一番有効に活用することが能率の良い勉強法といえます。その点でこの方法は最も基本の勉強法といえますね。

2 教科書を見るだけ、問題集を見るだけの眺め学習ではいけない。しっかりテスト勉強用のノートをつくって、「見る」「書く」そして最後に「読む」を繰り返すと必ず頭に入る。一度はやってみるべし。

この方法の良いところは「書くこと」「読むこと」に着目しているところです。目だけで勉強するのではなく、手や口を使うことでより集中できることが分かっているのでしょうか。

3 ノートをもう一回丸写しする。それを声に出して読む。一通り読み終わったら暗記する。それを何回も繰り返す。

授業中書いたノートをもう一度写すというのは初めて聞く方法です。もう一度書くことによってより深く理解できるのでしょうか。面白い方法です。

それから、勉強にはじっくりと時間をかけると良いのですが、テスト勉強は時間との戦いという面もあります。時間を上手く使おうと工夫した方法がありました。

4 分からないところをチェックして、テスト直前はチェックしたところだけを見直す。苦手なところから時間をかけてする。

この方法は私もよく使いました。問題集をやって自力でできた問題とできなかった問題を違う印を付けておきます。そして、テスト前はできなかった問題だけやり直すだけです。短時間でできます。

この他にも生徒会新聞には勉強法が紹介されています。私が感心した点は、目だけを使って勉強するのではなく、「書く」とか「声に出して読む」などの五感を使っているところです。また、プリントやノートそしてワークを有効に活用することは、普段の授業を大切にするとところに他なりません。是非、参考にしてください。